

ハーモニー

「ハーモニー＝2音以上の音を同時に出した時に生じる融合音」どちらが強くても、弱くても、美しい音はかもし出せない。性別に関わりなく全ての人がお互いの存在を尊重し、ともに作りだす社会の仕組みは全ての人にとっても心地よいはず。この情報誌には、そんな思いがこめられています。

男女関係なく協力し合える
“地域づくり”を目指して
毎日頑張っています！

北谷町内女性自治会長の皆さん

写真左より

宮城区自治会長	喜友名 昭 美さん
栄口区自治会長	島 袋 艶 子さん
北玉区自治会長	伊志嶺 友 恵さん
美浜区自治会長	岡 村 悦 子さん



北谷町内に11ある自治会のうち、4つの自治会は女性の自治会長です。
女性リーダーとして地域で輝く4名の自治会長の皆さんにお話を伺いました。



—皆さん地域のリーダーとして活躍されていますが、自治会長に就任して何年目か教えてください。

島袋さん 平成16年からなので、23年目になります。もともと自治会で書記をしていました。

岡村さん 平成15年の美浜区自治会設立時から書記をしていて、平成27年に前自治会長の後を引き継ぐ形で会長になり、12年目になりました。

喜友名さん 平成29年からなのでちょうど10年目です。その前は平成19年から自治会で書記をしていました。

伊志嶺さん 令和6年からなので、3年目です。私も書記を10年ほどしていました。

—自治会長としてのやりがいや、嬉しかったことなどを教えてください。

島袋さん いろいろな事業を企画して、それを区民と一緒に実現することが楽しいです。まつりなどの行事に向けて、私が企画を提案すると、みんなが協力して実現してくれる。それが楽しくてどんどんやっちゃいます（笑）。

岡村さん 令和5年の美浜区設立20周年記念事業の際、いつも献身的に自治会を支えて頂いている区民や多くの事業所の方に感謝を伝え、美浜区の公式曲「わした美浜」をみんなで合唱したことが今でも嬉しかった思い出として残っています。

北谷町内には11の行政区がありそれぞれ自治会が設置されています。ぜひ公民館に足を運んでみてください！
(上勢区、桃原区、栄口区、桑江区、謝苅区、北玉区、宇地原区、北前区、宮城区、砂辺区、美浜区)

喜友名さん 各種事業やイベントに参加した子どもから高齢者の方まで、「公民館があつて良かった。楽しかった。いつもありがとう。」と言われると、とても嬉しいです。幅広い世代の多くの区民の方と接することができ、地域づくりに携わること、自身の成長にもつながっていると思います。大変なことも多いですが、とてもやりがいがあります。

伊志嶺さん いつも公民館に来て下さる90歳近い方が「おうちにいるより公民館にきた方がいいさ」と毎回言ってくださいます。他にもイベントの際に、区民の方が「何かあれば声かけて」と快く言ってくださり、いつも励みになっています。北玉区は他の地域より小さいですが、皆さんと一緒に頑張ってきてよかったな、と感じています。

―自治会運営で心がけていることはありますか。

島袋さん 区民の皆さんに無理はさせない、なものねだりをしない、ということ。イベントなどで、参加者が少なかったり、女性だけに偏ってたりしても、無理して人数を集めたり、慌てて男性に声をかけたりとかそういうことはしません。無理はしない。できるときに手伝ってもらえればそれでいい。そうしないと自治会は続

かないと思います。

岡村さん 区民の皆さんの能力や得意なことを理解し、その方の一番活躍できる場所で実力を発揮していただく「ひとり一役プロジェクト」を心がけています。英会話や料理など、皆さん個人個人の能力がすぐくて、惜しみなく自治会に協力していただいています。

―女性の自治会長で良かったことや「女性の自治会長で良かった」と言われることはありますか。

喜友名さん いつも笑いがあつて和やかな雰囲気づくりを心がけているからか「公民館に足を運びやすい。気軽に相談できる。」と言われます。区政委員も女性が増えました。

伊志嶺さん 「話しやすいのでなんでも相談できる」と言ってもらえます。地域プラン事業の一つで手芸や裁縫のサークルが週二回あつて、毎回10人くらいの方が集まるのですが、サークルではない曜日にも時間があるときに公民館に来る方がいて、居心地がいいのかな、と思います。

―逆に女性の自治会長で大変なことはありますか。

島袋さん 自分ではあまり意識したことはない



美浜区 岡村自治会長

「今いる区民の皆さんが『自治会に入ってよかった』と思える活動をしながら、新しい仲間も増やしていきたいです!」

のですが、例えば力仕事とかしている際に、こんなことも区長がやっているの?」と言われます。
伊志嶺さん やっぱ力仕事、たとえば行事の広報のための立て看板を立てたりする作業などは少し大変です。急ぎで作業しないといけない時などはお手伝いを頼みにくいのですし。

岡村さん 自分自身では女性だからと意識していないのですが、やっぱり周りに言われることが多いです。女性だからではないですが、一番身近な地域にあつてすぐ相談ができるということ、ちょっとした困りごととも時間に関係なく区民から直接連絡がきます。「自治会長って『※よろずや』さんのの?」と言われたこともあります。

※よろずや なんでも屋 便利屋

そんな感じで大変な時もありますが、それでも区民の皆さんと過ごす毎日が本当に楽しいです!
島袋さん 朝早く自宅に来る人もいます。そういう人に限ってそんなに急ぎじゃない用事だったりするんですけど(笑)。

喜友名さん 土日の出勤も多いので、子どもが小さいときなどは、家族に負担がかかっていたと思います。共働きだと家事や子育てなど、家族の理解や協力が必要です。



宮城区 喜友名自治会長

「宮城区は行事やサークル活動の際はたくさんのボランティアの方が協力してくれるので心強いです!」



北玉区 伊志嶺自治会長

「自治会長になって3年目。まず区民一人ひとりを知ることを心がけて自治会運営しています!」

「北谷町が今よりもっと誰もが自分らしく輝ける町になるために、自治会としてできることはあります。」

伊志嶺さん 地域の行事などとおして、区民で支え合いながら、人と人のつながりを広げ、若い世代に自治会活動や公民館のことを知らせていく必要があるな、と感じています。

「自治会活動において、性別に関係なく協力しあっていることはあります。」

喜友名さん 宮城区の活動は性別に関係なく自発的に参加し、皆で汗を流し、明るい雰囲気です。また、男の仕事、女の仕事という固定観念にとらわれているのはどちらかというと年配の方々で若い区民の方はそういう感覚はないように感じます。

岡村さん 美浜区も性別に関係なく自治会運営や清掃活動、役員会等協力していただいています。作業内容によっては、得意分野という観点もありますが、まつり等でのテント設営は男性が多く、台所での作業は女性が多く担っていますが、必要に応じて男性も女性も協力しながら進めています。

「公民館に来やすい、と言われるのは女性の自治会長だからというより、皆さんそれぞれのお人柄だと感じました。皆さん明るくて前向き。取材中はたくさんさんの笑い声が響いていました。それぞれの温かなお人柄で区民の皆さんを丸ごと包んでいるんだな、と感じました。」

島袋さん それぞれの地域で色々な持ち味を出して、たとえば観光客が各地域を散策できるように工夫したり、各行政区に伝わる伝統芸能とか、そういうものを前面に出してイベントを開催したりとか、私たち自治会が頑張つて地域を盛り上げると町全体が盛り上がりつついていくと思います。

岡村さん 年齢や性別に縛られず、個人の能力を最大限に発揮でき、一人ひとりが生きがいを持てる自治会でありたいと思います。全員参加の義務感や固定的な役割分担から脱却して、多様な住民が自分のペースで関われる場を創出することが美浜区自治会として取り組んでいけることかな、と思います。

喜友名さん 自治会加入者が年々減少していく中で、自治会のイメージを変える、役員の見直しを行う等ハードルを下げ、楽しく、誰もが気軽に参加できる、魅力ある自治会を築いていく必要があると思います。各自自治会が地域の要となり、誰もが住んで良かったと思う平穏で安心安全な地域づくりに取り組むことで、輝く北谷町を築くことにつながると思います。

「ありがとうございました。」

どこからがセクハラ？どこからが性暴力？

～職場・学校・地域でできること～

職場や学校、地域社会におけるセクシャルハラスメント及び性暴力について、具体的な事例をとおして、その影響や防止策を学ぶことを目的に「どこからがセクハラ？どこからが性暴力？～職場・学校地域でできること～」を開催しました（協力：明治安田沖縄営業所）。

講師の琉球大学法科大学院長の矢野恵美教授は「セクハラをはじめとするハラスメントは対等な関係ではない人間関係の中で起こる人権侵害」と指摘。『男だから』『女なのに』といった性別に関する思い込みや、『昔からそうだから』という慣習を見直すことが、一人ひとりが予防の意識をもつ第一歩になる」と話していました。

令和8年3月25日開催

また、近年制定された「こども性暴力防止法」「教員性暴力防止法」にも触れ、現状を正しく知り、予防を心がけることの重要性を強調しました。

参加者からは「無意識の思い込みは誰にでもあり得ると気づかされた」「予防のための意識改革が欠かせないと感じた」という感想が寄せられました。

「ハラスメントや性暴力の予防を心がけることは、窮屈なこととは考えず、苦しむ人が減ると捉えるべき」と話す琉球大学法科大学院長の矢野恵美教授



北谷町男女共同参画推進月間記念「ロビーコンサート」

令和8年
5月26日
開催

北谷町男女共同参画月間（6月）のスタート記念イベントとして、役場町民ギャラリーで、琉球交響楽団によるミニコンサートを開催しました。

ヴィオラとヴィブラフォンが奏でる美しい「ハーモニー」は聴く人の心に寄り添う温かな音色でした。



異なる音が重なり合うことで生まれる

「ハーモニー」のように、全ての人がお互いの存在を尊重し、性別に関係なく自分らしく輝ける北谷町になりますように。そんな願いがこもった素敵な演奏に、来庁された多くの皆さんが足を止め、心地よい調和のひとつときを楽しみました。



弁護士による女性法律相談・男性法律相談・性の多様性に関する相談会

令和8年
6月3日
開催

琉球大学法科大学院の協力による「弁護士による女性法律相談・男性法律相談 性の多様性に関する相談会」を開催しました。当日は弁護士だけでなく、ロースクールの教員や学生も相談に入り、法律に基づいた考え方やアドバイス等を相談者に伝えました。

今回は仕事帰り等に相談しやすいように、夜間に開催。相談者からは「とても丁寧な回答をいただきありがとうございました」「アドバイスをきいて自分なりに解決へ向けた行動を起こせるようになりました」との声がありました。



相談対応した琉球大学法科大学院の皆さん
前列右より齋藤実教授（弁護士）、矢野恵美教授、鎌田晋准教授（弁護士）
（後列は学生の皆さん）

DV・その他相談窓口 ～一人で悩まず ご相談ください～

緊急時は110番へ

沖縄県配偶者暴力相談支援センター（女性相談所）

☎098-854-1172

月～金 8:30～17:15 土日・祝日 8:30～16:30

中部配偶者暴力相談支援センター（中部福祉事務所）

☎098-989-6603

月～金（祝日除く） 8:30～17:15

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター （with you おきなわ）

#8891 又は ☎098-975-0166

北谷町 女性相談 男性相談 LGBTQ 相談

DV・夫婦関係・子育て・仕事・家庭生活・人間関係に関する
こと等

相談員直通

☎080-6489-6980

月・水・木（祝日除く） 9:00～17:00

ハーモニー74号はいかがでしたか？

皆さまのご感想、ご意見、男女共同参画に関する情報等をぜひお寄せください。

編集・発行／北谷町 町長室 秘書広報係 ☎098-936-1234（内線1110）

